
「科研費改革の動向」 Reorganization of KAKENHI : Current Activities of JSPS

世話人：豊島陽子（東京大学大学院総合文化研究科、日本学術振興会学術システム研究センター専門研究員）

Organizer：Yoko Toyoshima (Graduate School of Arts and Sciences, the University of Tokyo; Program Officer, Research Center for Science Systems, JSPS)

日時：11月27日（日）12:30～13:20（ランチョンセミナーの時間帯）

会場：C会場（中会議室 201）

昼食：お弁当とお茶が無料で提供されます。ただし、数に限りがあります。

形式：日本語による講演会

講師：日本学術振興会 研究助成企画課長 大鷲 正和

日本が将来にわたって卓越した研究成果を生み出し続けるために、科学技術・学術審議会において「科研費制度の抜本的改革」が提言され、科研費の研究種目・枠組みの見直しや審査システムの見直しが行われています。平成30年度科研費（平成29年9月公募）には「審査システム改革2018」として、審査システムの完全移行が行われる予定であり、科研費業務の大部分を担当している日本学術振興会の学術システム研究センターが中心となり、2年余りにわたり議論を進め、審査区分と審査方式とを一体的に見直す改革案をとりまとめているところです。今回は、このシステム改革の概要を中心に、ご説明をいただきます。